

11月21日、ヤングプラザで親子手打ちそば講座が行われました。この日参加した親子は6組。新そばの粉を使ってのそば打ちに、悪戦苦闘しながらも親子で力を合わせて、楽しくそば打ちを体験しました。川田美穂さん(明野・34区)は、「初めてそば打ちを体験しました。のぼしたり、切ったりと難しかったけど、お父さんに作ってあげたいです。年越しそばにチャレンジしたいな」と話していました。



お母さん、おそばをさせるのって大変なのよ！



さあ、かかっしよー！

11月17日、町民体育館で第6回上武洋次郎杯邑茶町青少年少女レスリング大会が行われました。この大会は名誉町民第1号、上武(現小幡)洋次郎さんの偉業をたえ、レスリング競技の普及と発展を目的に毎年開催。県内外から参加した426人の選手たちが熱戦を繰り広げました。



かわいくできまがったね

12月11日、長柄公民館で子どもキャンドル作り教室が行われました。参加した子どもたちは、自分だけのオリジナルキャンドルを製作。平井萌生さん(大谷端宿赤東・31区)は、「苦勞して製作したので、クリスマスはオリジナルキャンドルに火をともしたいです」と話していました。



必ず追い抜いてみせるの

12月5日、スポーツ・レクリエーション広場周辺で、邑茶町ジュニアマラソン大会2010が行われました。晴天に恵まれたこの日は、町内の小・中学生427人のランナーたちが参加。追いつき追い越されの激走が繰り広げられ、沿道からはランナーたちを応援する声が響き渡っていました。

## 町の歴史 連載三百五十回

### 町の年代記

52

細谷清吉(歴史研究家)

小泉領時代  
この邑茶町の篠塚・中野・藤川・石打地区は延徳元年(一四八九)から天正十一年(一五九〇)までの百一年間は小泉領として、小泉富岡氏六代の支配を受けておりました。小泉城は小泉富岡城とも呼び、延徳元年十月に結城氏朝の弟久朝の子富岡直光が古河公方足利成氏の命により、邑茶郡佐貫庄西部の小泉郷に築いた城です。西は新田金山城、北は足利城、東は館林城に囲まれ、南は利根川をへだてて忍城(行田市)に接していました。小泉城の所領は佐貫庄二十一郷でした。それは

今の大泉町、小泉・築肥地・坂田・吉田・古海・仙石・寄木戸・古米・千代田町・新福寺・舞木・福島、邑茶町、篠塚・中野・藤川・石打。太田市、古戸・矢島・別所・飯塚・新島・内ヶ島です。この太田市になっている六郷は明治以前まで邑茶郡佐貫庄でした。小泉城築城の由来は、古河を拠点とする古河公方足利成氏と関東管領上杉氏との間を二分する合戦で、足利幕府の応援を受ける上杉氏は本庄を拠点とし、本庄方が金山城を前線基地としていたのに対し、古河方の前線基地を邑茶郡西部に設ける必要上、小泉に城を築いて対抗したわけです。小泉城主となった結城直光は成氏の父鎌倉公方持氏が永享の乱で敗れて自害し、持氏の遺臣結城氏朝が結城合戦をおこして敗れ、その氏朝の

弟久朝も自害しました。その久朝の子が直光です。父結城氏朝が足利成氏から上野国富岡地方を拝領して富岡を姓としたので、富岡に生まれた直光は富岡氏を称したわけですが、直光は初代の小泉城主、二代が秀光、三代が秀信、秀親、秀高、秀長(秀朝)と六代続き、天正十八年小泉城が開城となり、七代にいたる新六郎大膳大夫富岡秀家は開城とともに新田郡浜田村に居住して農民となりました。浜田は五代富岡秀高が隠居領として二千石を小田原北条氏から与えられた地です。その浜田は今の太田市下浜田で、子孫の富岡藤原家です。今でも富岡氏過去帳・由緒書・増築等があります。



小泉城本丸跡(城の内公園・大泉町)